

なみまるくん

うみ・なかま
コミュニケーション

Hokkaido Gyoren Magazine Number 273 July 2011

7

北海道
ぎょれん



特集

ぎょれん総会・北海道漁業協同組合長会議

北海道ぎょれんウェブサイト
<http://www.gyoren.or.jp/>

- 1 海ひと夢
北海道漁業協同組合女性部連絡協議会 会長 平賀由喜子さん

- 2 **特集** ぎょれん総会・北海道漁業協同組合長会議

- 8 なみまる社会科見学

- 10 浜の家族物語
釧路市漁協 おんまやしき 御厩敷 健一さん ご家族

- 11 頭すっきり!! ブレイクタイム

- 12 「お魚殖やす植樹運動」記念の森植樹行事

- 13 石狩湾漁協浜益地区青年部「漁師さんの出前授業」

- 14 なみまるインフォメーション

- 16 おまかせ設計センター

- 17 浜だより

ほたて稚貝の積み込み作業が進む紋別港



表紙の写真は、釧路市漁協の御厩敷 健一さんご家族です。

沖で働く父さん達の支えになりたい

北海道漁業協同組合女性部連絡協議会 会長 平賀 由喜子 さん

これまでの道女性連の 活動を継承し頑張ります

この度新谷前会長が勇退され、道女性連会長という重責を引き受けることになりました。就任して間もないですが、これまでの道女性連の活動を継承し、頑張りたいと思っています。

道女性連の主な活動は、漁業環境を守る植樹、魚食普及のための食育、ムリ、ミエ、ムダを省いた漁村生活改善への取り組みですが、中でもぎょれんとの共催で昨年100回目を迎えた「浜のおかあさん料理教室」は、活動の中心として定着してきました。料理教室の先生として、全道女性部の皆さんにいつも快くご協力いただいています。また「100年かけて100年前の自然の浜を」をスローガンに、全道での植樹活動は、20年以上にわたり続いています。

料理教室は 教える側も勉強になり 楽しい思い出ばかりです

魚を知って買って食べても



らうのが、浜のおかあさん料理教室の最大の目的です。普段魚には馴染みが無く、切り身や加工された魚しか知らない人たちでも、大きな生の「秋鮭」を目の前で捌いて見せると、都会の皆さんには新鮮に映り、喜んでくれます。初めて料理教室の講師を務めるお母さんでも、いつもの浜言葉で話し、飾らない自分を出していけば、すぐに参加者の皆さんと打ち解けられます。私もこれまで多くの料理教室に参加しましたが、いつも勉強になりますし、

楽しい思い出ばかりです。

沖で働く父さん達を 支えていきたい

「女性の力」は浜には欠かせません。陸仕事をする女性がいてはじめて、父さん達は安心して沖に出られます。夜が明けないうちから起きてご飯を作り、船が戻れば網はずし出荷作業など、とにかく浜の女性は働き者です。

戦後の混乱の中、生活が困窮していた時代の漁協女性部（当時の漁協婦人部）は、協同の精神を持って活動する必要がありました。時代と共に女性部のあり方も変わってきましたが、ボランティア精神で日頃の地道な活動を続けること、そして縁の下の力持ちとして、沖に出る父さん達を支えることは、今も昔も変わりません。ですから、若い世代の部員を増やし、活動を引き継ぐことが、将来にわたり漁業が続くための礎になると信じています。

ぎょれん総会・ 北海道漁業協同組合長会議

ぎょれん第62回通常総会



6月16日(木)、札幌市の第2水産ビル大会議室で、第49回北海道漁業協同組合長会議、第62回ぎょれん通常総会が開催されました。組合長会議では、東日本大震災水産被害対策について特別決議され、燃油税制にかかる特例措置について緊急決議されました。ぎょれん総会では、平成23年度ぎょれん事業計画など7件の議案が承認されました。

第49回北海道漁業協同組合長会議

東日本大震災水産被害対策について特別決議、燃油税制にかかる特例措置について緊急決議

第49回北海道漁業協同組合長会議は、主催者団体を代表し、ぎょれん櫻庭会長が挨拶した後、柳谷組合長(白糠漁協)を議長、今組合長(北るもい漁協)を副議長に選任し議案を審議しました。

柳谷議長から昨年の決議実行経過の報告があり、今副議長が、今回提出された議案の審査内容を説明しました。提出された議案は全て原案通り承認、決議実行方法は櫻庭会長に一任され、今後、国や道などの関係機関に要請活動を行っていきます。

平成23年度漁協系統運動功労者表彰



竹島 啓二さん(左)
(いぶり噴火湾漁協代表理事組合長)

いぶり噴火湾漁協の竹島啓一組合長が表彰を受け、鎌田北海道漁業共済組合長・共済推進本部長から表彰状および記念品が贈呈されました。



議長を務めた柳谷組合長(左)、副議長を務めた今組合長(右)



北海道漁業協同組合長会議決議事項

特別決議 東日本大震災水産被害対策について

1. 漁業生産基盤復旧復興対策

発言者

平野組合長

(えりも漁協)



- ・今後の災害復旧に即応できる激甚災害制度の適用緩和措置及び関連法の整備、改善を図ること
- ・災害復興の長期化による水産物流通環境整備対策、漁業関係資金の長期・低利資金の継続並びに無利子化事業の継続措置及び漁協経営に対する支援対策の拡充を図ること
- ・協業化、共同経営等への取り組み推進に係る共同利用施設(漁船、漁具、養殖施設等)の取得支援対策の拡充を図ること
- ・漁港・港湾の津波防災対策の拡充を図ること

2. 原子力発電所による

放射性物質災害に係る防止対策

発言者

山崎組合長

(上磯郡漁協)



- (1) 安全強化対策
 - ・福島原発災害の早期収束と海への汚染水を絶対流出させない完全防止対策を実施すること
 - ・北海道泊原発をはじめ全国各地の全ての原子力発電所の抜本的な安全強化対策措置を実施すること
 - ・新設原発(建設中を含む)の中止凍結を含めた見直しと関係漁業者への十分な説明・情報開示を実施すること
- ・第1次産業への環境影響を配慮した、風力・太陽光・地熱等、安全かつクリーンな自然エネルギー利用への政策転換に向けた検討を実施すること

(2) 風評被害対策

- ・道産水産物の魚価低迷・消費減退の回避及び諸外国の輸入制限・禁止措置に対する万全の対策を実施すること
- ・放射性物質の検査体制強化による安全・安心体制の確保と国内外における情報共有の徹底を図ること
- ・水産関係者が被る直接・間接的風評被害の完全補償対策を実施すること

緊急決議 燃油税制にかかる特例措置について

発言者

市山組合長

(ひやま漁協)



- ・農林漁業用A重油にかかる石油炭炭税の免税・還付措置について、恒久化すること
- ・漁船に使用する軽油にかかる軽油引取税の免税措置について、恒久化すること
- ・地球温暖化対策税については、漁業者の負担が一切増えることのないよう万全の措置を講じること。特に燃油への課税についてはA重油に限らず、軽油も含めて油種にかかわらず負担増を回避するよう措置すること

決議第1号 次期水産基本計画に向けた

強い北海道漁業の確立について

1. 漁業経営基盤強化対策

発言者

阿部組合長

(紋別漁協)



- (1) 総合的な漁業所得補償制度の確立
 - ① 資源管理・漁業所得補償対策の拡充
 - ・恒久的な収入安定対策としての継続した予算措置を行うこと

東日本大震災に係わる義援金が 北海道の農業者・団体より贈呈

6月16日正午から、ぎょれん第一会議室において、北海道の農業者、農協系統団体を代表して、北農中央会飛田会長より7,800万円の義援金が、北海道漁協系統団体を代表して櫻庭ぎょれん会長に贈呈されました。

これらの義援金は、第一回地区組合長会会長会議において、被害金額等の基準に基づき配分することを協議決定しています。



会議に先立ち東日本大震災の犠牲者に対し黙祷を捧げました

2. 水産物流通・加工・消費対策の拡充強化



発言者
竹内組合長
(歯舞漁協)

- (1) 国内流通対策
 - ① 生産コストに見合う魚価実現に向けた国産水産物の価格安定制度の拡充と末端流通を見据えた需給調整機能の拡充強化を図ること
 - ② 海外流通対策
 - ① 我が国の良質な水産物の海外市場への供給機能強化に向けた輸出支援策の拡充を図ること
 - ・ 輸出水産物の海外市場開拓に向けた対策の拡充強化を図ること
 - ・ HACCP施設整備等の輸出基盤整備対策の拡充強化を図ること
 - (3) 食育対策
 - ① 若年層を主体とした食育機会の拡充に向けた支援制度を創設すること

- ・ 漁業共済制度の加入要件緩和と補償内容充実に向けた制度の改善を図ること
- ・ 漁場改善計画の適正養殖可能数量の条件緩和措置を図ること
- ② 燃油等漁業コスト対策の確立
 - ・ 漁業経営セーフティネット構築事業の拡充強化（発動基準の緩和と事業規模の拡大）を図ること
 - ・ 協業化、省エネ、省力化の取り組みによる生産コスト削減のための施設導入支援対策を実施すること
 - (2) 制度資金の拡充・強化および保証制度の拡充
 - ① 漁業近代化資金の貸付限度額の引き上げ、限度額特認の簡素化を図ること
 - ② 漁業緊急保証対策事業の恒久化を図ること

3. 水産資源の持続的利用、資源増大対策、 環境保全対策の拡充強化



発言者
濱野組合長
(島牧漁協)

- (1) 地域の特性に応じた資源づくり、資源に見合った操業体制の確立と安定的な増養殖事業の展開を図ること
- (2) 有害生物（トド、オットセイ等の海獣、クラゲ、ザラボヤなど）の被害防止対策に対する支援の拡充強化を図ること
- (3) 漁場環境の改善整備のための森林・河川・海洋環境保全及び漂流物処理対策を推進すること

4. TPPの断固参加阻止とWTO・FTA等 貿易自由化交渉における水産物輸入対策

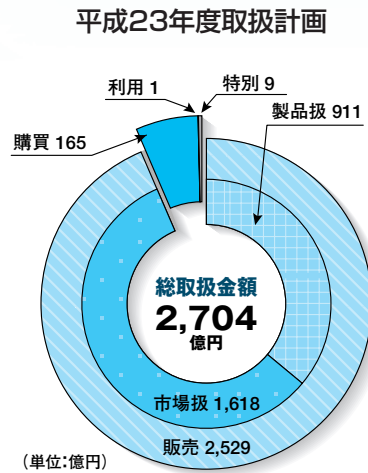


発言者
大坂組合長
(根室漁協)

- (1) 漁業・漁村の崩壊を招く例外なき貿易自由化を強いTTPPの参加を断固阻止すること
- (2) 無秩序な水産物輸入の自由化阻止とIQ制度を堅持すること
- (3) FTA（自由貿易協定）・EPA（経済連携協定）交渉における主要水産物の適用除外を図ること
- (4) ロシアWTO加盟後の現行輸入制限措置を継続すること



ぎょれん櫻庭会長



ぎょれん総会は、櫻庭会長の挨拶（別項参照）の後、竹島組合長（いぶり噴火湾漁協）が議長に選任され議案を審議、いずれも原案通り承認されました。

平成22年度取扱高は2762億円、
平成23年度は
2704億円の取扱計画

第62回ぎょれん通常総会

ぎょれん総会櫻庭会長挨拶（要旨）

三月十一日に発生した東日本大震災により、東北地方は未曾有の被害を被り、漁業関係者を含め数多くの尊い命が失われました。衷心より犠牲となられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災され今なお避難生活を余儀なくされている皆様に対して、心からお見舞いを申し上げます。道内においても、大津波により、三百億円を超えるかつてない甚大な漁業被害を受けました。既に多くの浜が復旧の途につかれています。被災された関係者の皆様には改めて心からお見舞いを申し上げます。

被災後、全漁連が窓口となって呼びかけました、「がんばれ漁業募金」には、全国各地から目

監査講評



鈴木代表監事

鈴木代表監事より監査講評があり、「平成22年度の総取扱高は「サンマ・秋鮭・イカ」の来遊状況が変則となるなど、地域間の水揚げ格差が生じましたが、ホタテ・サンマ・イカなどの市場取扱高の増加や燃油価格の上昇による購買扱の増加から、前年実績を約47億円上回る2762億円となっています。収支戻については、販売事業収入の増加などから震災義援金の計上後で税引前当期利益は、4億8千万円、当期未処分剰余金は4億5千万円となり、

会員への各種配当及び一定の内部留保が出来る決算結果となっています。厳しい経営環境の下、会を挙げて積極的な事業推進に取り組んだ結果であり、会長はじめ役員に心から敬意を表します。」と評価しました。

要望事項については、福島原発事故による水産物輸出の一部混乱など魚価や製品価格への影響への懸念や、円滑な輸出にむけた体制並びに機能整備、漁業・水産加工の基地である東北地方が壊滅的な被害を受けたことによる、我が国水産物の流通の変化に対応するための「道産水産物の流通の安定確保と強化について」、及び「資産自己査定要領の見直し改訂について」、「取引先の与信管理について」の3点を挙げました。

標のほぼ倍にあたる、二十億円程の義援金が寄せられたほか、JA北海道の農業団体・生産者の皆様からも、道内で被害に遭われた漁業関係者への見舞金七千八百万円をお預かり致しました。皆様の心温まるご支援に感謝申し上げますとともに、それぞれの浜において復旧、復興に向けた一助となることを願う次第です。



総会挨拶(要旨)

平成22年度事業実績

主要魚種の減産も魚価回復の兆し、 販売事業取扱高は 計画・前年並みの実績を残す

本道の漁業生産は、秋鮭・ホタテなど暴幹魚種が減産を余儀なくされ、総体で百四十二万トンと前年を若干下回る水揚げとなりました。低迷していた魚価は、輸出関連魚種を主体にやや回復傾向をみせるなど、一部に明るさが伺えたほか、製品の流通面においては、長引くデフレ不況、低価格志向等により、国内消費が伸び悩む一方で、海外における水産物需要が増大し、急激な円高にあつても輸出が伸長するという、国内外の消費構造の「二極化」が顕著となった年でした。

主要魚種のうち「秋鮭」は、当初予想に反して大減産となり、生産額も前年を大きく下回りました。製品流通面におい

ては、円高にあつても中国輸出が堅調に推移したほか、魚卵製品も、生産量の減少等から市況が回復するなど、総じて順調な消流となりました。

「ほたて」については、水揚げが減少する中で浜値が上昇し、生産額



給動向を見極めた対応が課題です。

「昆布」については、四年連続で二万トンを割り込む生産にとどまりました。消流面では、だし系昆布が依然として苦戦を強いられており、かねてから課題となっていた、昆布の生産回復に向けた取り組みと併せ、消費拡大対策の継続強化が課題です。

「一般魚種」は、いか・助宗が増産となりましたが、

さんま・たらほつけ・たこ等は減産となり、魚種による地域間格差も顕著となった他、浜値が回復をみせた魚種と低迷を続ける魚種とで明暗を分けました。



が前年を上回りました。製品流通については、香港向け干貝柱の流通がほぼ正常化したほか、玉冷等も生産減少もあって、順調に消費が進みました。しかし、製品価格は高水準であり、今後の新物の価格形成にあたり、需

本会として、前年に続き、直営工場・会員・提携加工業者等との連携のもと、国の流通対策事業も活用しながら、生鮮流通、加工対策、製品輸出等を併用した、鮮魚事業や加工・製品流通対策に取り組み、魚価・消流の安定に努めました。以上の結果、販売事業の取扱高は、製品扱の減少はありましたが市場扱の増加により、事業計画・前年度並みの実績となりました。

購買事業については、中東情勢の悪化等により原油価格が再び上昇基調となり、全漁連とともに、系統燃油価格の適正化に取り組みました。また、取扱開始から九年目を迎えた「系統ブランド資材」の更なる普及拡大を図るなど、漁業コスト削減に向けた事業展開を継続しました。購買事業の取扱高は、燃油価格の上昇により前年度を上回りました。

指導事業のうち漁政対策については、本道漁業の抱える課題解決に向け、漁協系統組織の総力を挙げた取り組みを行いました。中でも突然浮上したTPP参加検討問題に対しては、全漁連並びに農業団体と連携し反対運動を展開したほか、貿易自由化の動きが加速する中、道とも連携の上、本道漁業の振興策を取りまとめ、国の次期水産基本計画へ反映させるための取り組みも行ってきました。また、行政刷新会議における水産分野の規制改革の検討に向けても、全漁連と連携し、漁業者の立場から意見反映に努めました。浜が長く求めている、漁業経営安定対策については、資源管理・漁業所得補償対策として、国の水産予算総額の四分の一が投入され、四月からスタートしました。今後は漁業共済制度の見直し、制度の恒久化が課題です。また、燃油セーフティーネット構築事業の拡充強化を国に求めるとともに、原

櫻庭会長の 特集 ぎょれん総会

油価格の急騰が懸念されたため、浜への加入促進に努めました。

東日本大震災による漁業被害に対しては、道とも連携し、震災後速やかに合同対策本部を立ち上げ、被害状況現地調査を踏まえた復旧対策の実施について、国・道に対する要請を行い、福島原発事故による放射能災害防止対策についても、漁業への影響回避に向け、再三にわたり要請活動を行ってきたところです。

このほか指導教育事業については、漁協経営の健全性確保対策、指導監査や各種研修の充実に努めるとともに、新たに協同組合運動の啓発DVDを製作



し、協同組合意識の向上に取り組みました。環境対策については、環境本部とも連携しながら、トド等の海獣被害、環境保全対

策やサハリン油濁事故防止対策を継続推進した他、有害生物漁業被害対策に関連した取り組みを行いました。

経営面におきましては、企業を取り巻く厳しい環境を踏まえ、前年に引き続き、経費削減運動を行った他、債権管理を強化し、貸倒れ発生回避に努めました。なお、関連会社については、本会事業との連携による更なる機能発揮に努めていますが、直営工場三社が原料事情の悪化等の影響もあり、赤字決算を余儀なくされました。連結決算時代を迎えてお

り、今後とも関連会社の安定収支の確保に取り組んでいきます。

以上の結果、平成二十二年度の本会経営は、総取扱高は二千七百六十二億円となり、収支についても、大震災による損失発生があったものの、税引前当期利益段階で、四億八千万円と、いずれも事業計画・前年度を上回る実績を確保することができました。

中期的事業推進方向・平成23年度事業計画

国際化戦略の強化、人づくり・物づくり・ネットワークづくり、企業の社会的責任の実践が中期的事業推進方向の重点スローガン

近年、グローバル化が一段と進み、本道漁業は大きな転換期を迎えています。海外の動向が直ちに浜に影響を与える時代となっています。この環境下、本会として「国際化戦略の強化、人づくり・物づくり・ネットワークづくり、企業の社会的責任の実践」を重点スローガンに掲げ、本道漁業の振興と発展に向けた「中期的事業推進方向」を取りまとめ、議案として附議しました。

こうしたなか、東日本大震災の発生、福島原発事故の長期化懸念という、新たな問題が立ちあがり、平成二十三年度の本道漁業を取り巻く環境は一変しました。今後の動向によつては、盛漁期に向け、放射能風評被害による道産水産物の輸出に与える影響が危惧されています。本会として、こうした影響を最小限に抑えるため、行政の支援も得ながら、輸出の円滑化に向けた取り組みを強化する一方、関係団体とも連携し、国内消費の安定確保に向け、組織を

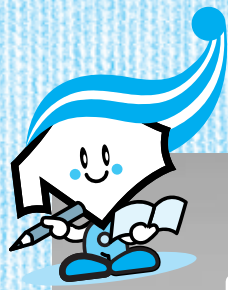
挙げて対応していきます。併せて、国に対して放射能汚染の拡大防止、一日も早い原発問題の収束を強く求めていく所存です。

平成二十三年度は、このほか国の次期水産基本計画に向けた政策提言、漁業経営安定対策の拡充、TPP参加問題、漁業燃油の免税措置など、対処すべき重要案件が山積しており、指導連と統合後七年目を迎えた指導事業の更なる強化を図ります。



本道漁業は今、大震災・福島原発問題という、かつて経験したことのない先行き不透明な事態に直面しています。大震災による東北の水産業被害は、我が国の漁業生産構造を大きく揺るがすものであり、国を挙げての一日も早い復旧・復興を願う一方で、水産供給基地「北海道」として、国民の皆様に対する、安全・安心な水産資源の安定供給という、社会的使命をしっかりと果たしていく責務があることは言うまでもありません。

このためにも、北海道の浜が、漁協・系統組織に大同団結し、「浜が一枚岩」となつて何としてもこの難局を乗り切っていく必要があります。本会是指導・経済連合会として、浜の負託に応えるため、最大限の努力を傾注していきますので、会員各位の特段のご理解とご支援をお願い申し上げます。



なみまる社会科見学

第6回

北海道初の灯台 「納沙布岬灯台」



「なみまる社会科見学」では、漁業や水産に係る施設などを訪ね、ご紹介するコーナーです。第6回は小樽市にある第一管区海上保安本部交通部、根室市にある根室海上保安部を訪ね、灯台についてお話を伺い、根室市にある納沙布岬灯台を見学させていただきました。

船乗りに安心感を与える「灯台の光」



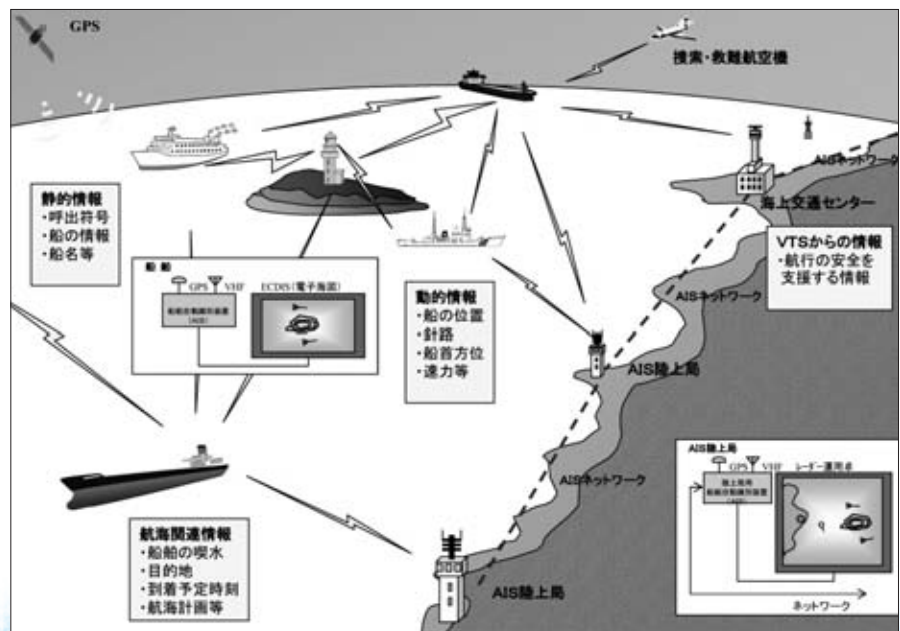
第一管区海上保安本部
交通部企画課長
佐々田雄二さん

船舶の安全航行を支援するため、陸上や海に航路標識が設置されています。航路標識には、大きく分けて灯台や灯標などの「光波標識」と、ロランC、ディファレンシャルGPSなどの「電波標識」があります。平成23年度末現在、光波標識は全国で約5000基、道内に381基あり、そのうち355基が沿岸灯台や防波堤灯台です。最近の灯台には、ほぼ点検を必要としないLEDやソーラーパワーを使用したものなども登場してきました。時代が変わり電波航法技術が進化した今でも、灯台は大切な道標であり、船乗り達に安心感を与えています。

AIS(船舶自動識別装置)で次世代の航行支援システムの構築を推進

AISは船舶の識別符号、種類、位置、進路、速力、航行状態などの情報を、自動的に

AISを活用した次世代の航行支援システム



送受信して、船舶同士や船舶と陸上との間で情報交換を行うシステムです。全国の主な灯台など(道内は20箇所)に送受信局が配置され、2002年から段階的に、一定条件の船舶に対してAISの搭載が義務化されました。今後AISネットワークの整備によって、より効率的で安全な航行が可能になると期待されています。

北海道初の灯台「納沙布岬灯台」



根室海上保安部
交通課長

中川 隆司さん

昔から暗礁が多く航海者に恐れられていた根室海峡。明治3年、根室海岸測量のため訪れていた海軍が、花咲、納沙布、弁天島に標柱を建てたいと希望しました。そのため、根室の開拓責任者だった松本十郎が、私財を投じて航路標識を建てました。その後明治5年7月に、明治政府により「納沙布埼灯台」として植物油で白色の光を点灯、ここに北海道初の灯台が完成しました。明治10年に木製灯台に改築され、現在の灯台は昭和5年に建築されたコンクリート製です。納沙布岬灯台には、平成10年まで職員が常駐、平成22年3月末まで霧信号所（霧笛）が設置されていましたが、現在は無人化され霧信号所も廃止されています。



灯台内部の階段を丸く登り降りします



公開用の展示物もあります



灯台の要「電球」を下から見たところ
間隔の開いた板が電球を囲んでいます

納沙布岬灯台

- 所在地 北海道根室市納沙布岬
- 位置 北緯43度23分07秒、東経145度49分01秒
- 塔色・構造 白色、塔形
- 灯質 等明暗白光 明3秒、暗3秒（船舶から見える灯台の光り方）
- 光度 14000cd（カンデラ）
- 光達距離 14.5海里（約27キロ）（灯光の届く距離）
- 明弧 105度から15度まで（光の発せられる水平方向（角度）。南を0度として時計回りに表現される）
- 分弧 339度から15度まで赤色で猫頭礁を示す（暗礁等の危険範囲を明示）
- 建物の高さ 13.5m（地上からの高さ）
- 灯火の高さ 23.2m（平均水面上からの高さ）



納沙布岬灯台が明治5年に出来た当時は、光源として植物油を使い、昭和11年にアセチレンガス灯になりました。灯光は光をレンズに通して遠くまで届ける仕組みですが、納沙布岬灯台では昭和28年に電化されるまで、油やガスを燃やしていたため、レンズはすすで汚れました。そのため灯台を守る職員は、すすを取るレンズ拭きが大切な仕事のひとつでした。現在は長寿命で信頼性の高い電球を使用し、電灯の周りに光を遮蔽する板を配置、回りながら光をさえぎることで、船舶からは3秒間隔で灯台が光っているように見えています。

レンズ磨きは「すす」を取るため

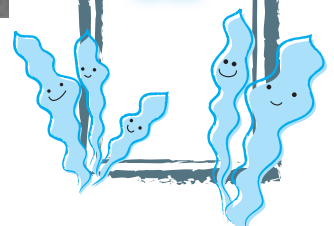
MICS（ミックス） 沿岸域情報提供システム



パソコンから <http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/>
携帯電話から <http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/mics/m/>

MICS（ミックス）は、海上保安庁がホームページ、携帯電話、一般電話を通じて、地域に密着した様々な安全情報をリアルタイムに提供するシステムです。津波などの警報、航行制限の情報などの緊急ニュース、海難状況、工事、漁網状況などの安全情報、灯台などで観測した風向・風速などの気象情報などを得られ、灯台からのライブカメラの映像も見ることが出来ます。

浜の家族物語



先月から始まった「浜の家族物語」では、「なみまるくん」の表紙に登場するご家族を紹介しています。今回は、釧路市漁協の御厩敷（おんまやしき）さんご一家です。



漁師は天職ですね

代々漁師一家の御厩敷さんの家業を支える船は「隆宝丸」、カレイ、タラ、メヌケなどの刺網漁、夏場にはサンマ流し網を営み、年中沖に出ています。「漁師は天職ですね。」と話す健一さん、昔から漁師になりたいと思っていましたが、父の莊三さんに反対され板前として働き始めました。「仕事に真面目で、子供のことを良く考えてくれる父親です。」と話す恵里佳さん、「奥さんは優しいのが良いところ。」と健一さんは照れくさそうに笑います。前船主さんから船を譲り受けた頃は大変で、親兄弟で船を切盛りしなければなりません。恵里佳さんも早朝からの陸仕事の合間

に自宅に戻り、娘たちを学校に送り出して再び浜に出ることもあったそうです。

本業も

青年部活動も充実

長女の千葉（ちな）さんは小学3年からバレーボールを始め、中学1年と2年の時に釧路市内の優秀選抜選手として活躍、次女の妃菜（ひな）さんはお姉ちゃんの後を追いかけてバレーボールを始め、2年連続で選抜選手になるのが目標です。お互い忙しくあまり顔を合わせられませんが、何でも話せる仲良し親子だそうです。「神様みたいな人、すごい師匠です。」と健一さんが尊敬するおじいさんの莊三さんは、寝ても覚めても漁のことが離れない



根っからの漁師、明るく気さくなおばあちゃんの時子さんは今、韓国ドラマ（俳優のイ・ビョンホン）にぞっこんです。今年の1月青年部長に就任した健一さん、本業のかたわら青年部活動も精力的です。小中学生を対象にした「漁師さんの出前授業」、「料理教室」は、子供やお母さんを対象に実施しています。またJA岩見沢青年部との交流が盛んで、お互いの祭りに参加し、それぞれの農水産物を組み合わせ、新たなレシピも検討中で、これからの交流に期待を寄せています。

《文／菅野 厚》





プレイタイム

クロスワードパズル

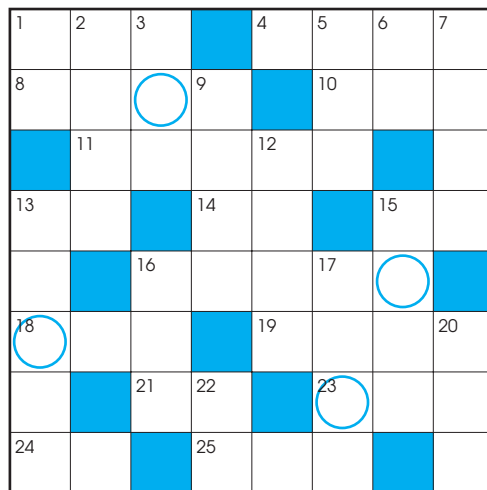
次のクロスワードを完成させ、○印に当たる言葉をうまく並べてください。夏といえばやっぱりこれですね!!

タテのカギ

- ① 神社に仕える女性
- ② 菌を増殖しないように加工した○○○○グッズ
- ③ Y○○○、T○○○、アロハ○○○といえぱ?
- ⑤ DNA のなせる技
- ⑥ ワインやウィスキーはこれに入れて発酵、熟成
- ⑦ かまぼこをこう呼ぶこともある
- ⑨ 創始者、パイオニア
- ⑫ ショッピングセンターなどに入ってるお店のこと
- ⑬ エコ対策で、暑い夏には大人気の電化製品
- ⑮ 「○○○○感激、雨あられ」
- ⑯ 絹糸や絹製品
- ⑰ 今、人気の○○○○露天風呂
- ⑳ 指揮者が振る棒
- ㉔ どんぐりがはまったところ

ヨコのカギ

- ① 「ワッショイ!」と言って担ぐもの
- ④ 今や電話の代名詞
- ⑧ マニフェスト= 政権○○○○
- ⑩ 三角州のこと
- ⑪ 今はカフェ、昔は?
- ⑬ ワインはコルクが多いです
- ⑭ 落とし穴はこれの一種
- ⑮ 折りたたみもある雨具
- ⑯ ベビーもできる実験器具
- ⑰ 波が起きたり流れるものもあります
- ⑱ 姉さん女房のご主人
- ㉑ ○○のない青春を過ごす
- ㉓ ○○○船、○○○室、観光○○○
- ㉕ ピンから○○まで
- ㉗ 火のない所に立たないものは?



正解者の中から抽選で5名の方に図書カードを進呈いたします。ハガキ、FAXもしくは電子メールに答えと浜のたより及びご意見・ご提言など、住所・氏名・年齢を書き添えて、どしどしご応募ください。

応募いただいた方の個人情報は、クイズ当選者への図書カード進呈と、広報なみまるくん「浜だより」の、おたより掲載（氏名・市町村名）にのみ、使用いたします。

応募先

〒060-0003 札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道漁業協同組合連合会 総務企画部 広報担当
* FAX番号 011-(242)-3543 (7月15日消印有効)
* 電子メール info@gyoren.or.jp

解答

□□□□□ となります。

ニ	ッ	コ	ウ	ア	バ	ラ
ジ	カ	タ	マ	シ	イ	エ
イ	ウ	シ	ウ	カ	エ	
ブ	コ	ミ	ク	エ		
リ	ウ	ク	チ	ビ	ル	
ミ	ド	リ	バ	ー		
イト	ク	ヤ	シ	ナ	キ	
ゴ	リ	ン	マ	ス	ネ	

6月号の解答と当選者 ジューンブライド

(浦 河 町) 吉田 愛弓さん
(七 飯 町) 清水 明恵さん
(えりも町) 大高 静代さん
(利 尻 町) 富山ゆかりさん
(紋 別 市) 野村 重人さん

間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5か所の異なるところがあります。
さあ、見つけてください。(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは17頁にあります。

「お魚殖やす植樹運動」記念の森植樹行事



750本の苗木一本一本に心をこめて

6月2日、当別町の道民の森にある「お魚殖やす植樹運動記念の森」において植樹行事が開催され、道女性連、コープさっぽろ、国や道、森林組合などから約60名が参加しました。

「お魚殖やす植樹運動記念の森」の入り口を示す看板の左側に少し急な上り坂があり、そこを登った先にある丘で今年は植樹を行いました。植樹に先立ち、道女性連の小林副会長は「『百年かけて百年前の浜を』を合言葉に先人たちが一生懸命植えてきた森です。一本一本に心をこめて植えましょう。」と挨拶しました。

この日は、うす曇りで気温15度と作業に適した天気でしたが、植樹が始まると皆さんは汗だくになりながら、ミズナラ、ニレ、イタヤの苗木を各250本、一本ずつ丁寧に植えていました。全てを植え終えた後、参加した皆さんで記念写真を撮影しました。

平成10年から始まった「お魚殖やす植樹記念の森」での植樹は、14年の歳月をかけて延べ900人以上の参加者により1万本を超える苗木が植えられてきました。ぎょれんでは、引き続きこの森での植樹を継続し、「お魚殖やす植樹運動記念の森」をさらに豊かな森へと育てていきます。



道女性連
小林副会長



手際よく植えていく道女性連の皆さん



地元の子ども達に 石狩湾で獲れるニシンを知って 食べてもらいたい

6月14日に石狩市立花川南小学校で、石狩湾漁協浜益地区青年部の藤巻部長をはじめ4人の漁師さんが、初めての出前授業を行いました。

教室に集まった4年生約100人の前に、普段仕事で着ているカッパにハチマキ姿で登場した4人の漁師さん。まず北海道や地元石狩市で水揚げされている魚を紹介し、中でもニシンは漁師自らが種苗放流してきた結果、石狩市で最も漁獲量の多い魚種に成長したことや、ニシンは栄養豊富で、DHAなどの体に良い成分が含まれているという説明に子ども達は興味津々です。続いてニシン刺網漁の様子をDVDで放映し、網起こしや網外し、血抜き処理などの初めて見る光景に、子ども達の表情も真剣そのものでした。さらに実際に刺し網を広げ、海の中で魚がどうかかるのかを再現、切れたロープを結び直す「さつま入れ」の実演に釘付けの子ども達は、結んだロープで綱引きをして、その丈夫さを体感しました。「魚のオスとメスはどう見分けるの」など、次々と出される子ども達の素直な質問一つ一つに丁寧に答えるうちに、楽しい授業時間はあっという間に過ぎていました。

授業を終えた藤巻部長は「初めてで緊張しましたが、子ども達にもっと魚を食べてもらいたい思いでがんばりました。次回は石狩で水揚げされるサケも取り上げたいですね。」と話し、初めての出前授業に手ごたえを感じていました。



刺網にニシンがかかる仕組みを
本物の網と魚の模型を使って解説



子どもたちの目の前で素早く「漁師の技」を披露



「さつま入れ」でつなげたロープで「綱引き」

なみまる

インフォメーション

Information 1

漁青連平成 23 年度第 1 回地区会長会議

創立50周年記念事業の内容決まる

5月27日（金）に、札幌市のぎょれん第一会議室において、道漁青連平成23年度第1回地区会長会議が開催され、各地区の正副会長や在札系統各連から合わせて25名が出席しました。はじめに、出席者全員で東日本大震災によって亡くなった方々に対して黙祷を捧げ、続いて高桑会長は「3月11日に、自分たちの働く海、自然の猛威を痛感しました。今こそ北海道の漁師が気持ちを一つにして、漁師は大丈夫だということを見せていきたい。」と挨拶しました。会議では、平成22年度事業報告、平成23年度事業計画、第49回全道漁協青年部大会の開催についてなど5つの議案が協議され、全て承認されました。また報告事項として、ぎょれんの本間参事が漁業系統による震災への対応経過について説明したほか、各地区ならびに道漁青連から総額85万円を超える義援金が集まり、JFグループの「がんばれ漁業募金」へ全額送金したことが報告されました。

来年度道漁青連は設立50周年を迎えることを記念して、平成25年1月に第50回全道漁協青年部大会を開催、創立50周年記念誌の発行を決定しました。



会議前東日本大震災による犠牲者に対し黙祷を捧げました



高桑会長を先頭に設立50周年記念事業に向けた準備に入りました

Information2

留萌管内おさかな普及協議会第1回料理教室

浜のお母さんの味で留萌管内の魚をPR

6月3日（金）、旭川市の北電ビルにあるクリーンライフプラザにおいて、留萌管内お魚普及協議会による今年度第1回目となる料理教室が開催され、旭川市内在住の主婦24名が、料理を通じて浜のお母さんと親睦を深めました。今回講師を務めたのは、北るもい漁協羽幌地区女性部の木村部長をはじめ4名の浜のお母さん、新鮮なアカガレイやナンバンエビなどを使って、それぞれの家庭のオリジナルレシピを紹介しました。参加者はカレイのおろし方や調理手順を教わり、時折談笑を交えながらの終始和やかな雰囲気の中で2時間調理し、「レタスとコラボ甘エビ丸ごとかつお節サラダ」、「カレイのカラットみぞれがけ」、「プリプリ海老はんぺん」、「浜なべ」の4品の料理を仕上げました。美味しく出来上がった料理を食べて参加者からは「早速、家に帰って『浜のお母さんの味』を家族に食べさせたい。」、「留萌で水揚げされたエビやカレイを買ってまた作ってみたい。」など嬉しい声が聞かれました。同協議会では、これからも参加者との交流を深められる料理教室や旭川市内のホクレンショップでの販促などを通じ、留萌管内で獲れる新鮮な魚を消費者に知っていただく活動を継続していきます。



カレイのおろし方を実演する木村女性部長



浜のお母さんが各グループに入り
出来上がった料理を食べながら交流しました

Information3

北海道日本海沿岸漁業振興会議共同記者会見開催

日本海のトド等海獣による 漁業被害の窮状を訴える

6月15日（水）にホテルポールスター札幌（札幌市中央区）において、北海道日本海沿岸漁業振興会議の定期総会が開催され、終了後「日本海トド等海獣による漁業被害の窮状」に関する共同記者会見が行われました。会見では、ここ数年トドなど海獣の日本海沿岸への来遊が顕著となり、漁網など漁具の破壊や漁獲物を食い荒らすなどの被害が甚大で、日本海沿岸の漁業者にとって死活問題になっている窮状を訴えました。また総会で決議された本年度の重要対策事項として、年間10億円を超えるトド等海獣による漁業被害に対する所得補償制度の確立を、国や道に要請することを表明しました。



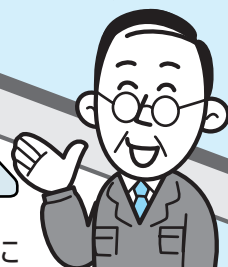
記者会見に臨む日本海沿岸漁業振興会議の
今委員長（写真中央）



(株)ぎょれん設計センターが住宅に関するベストアドバイス!

なまかせ設計センター

部屋の 壁紙を使い分けて 快適に



壁紙は汚れ等が目立つようになってきたり、色があせてデザインが古く感じるようになったら替え時かもしれません。今回はいろいろな機能を持つ壁紙をご紹介します。

機能性で選ぶ壁紙の種類

1. 防火

建築基準法により必要な部屋…火気を使用する台所など

2. 汚れ防止

汚れが落ちやすい、抗菌…子供部屋など

3. 蓄光

光があるときに光を蓄え、消すと模様が浮かび上がる、デザイン性が高い壁紙。

4. ペット

傷に強い、抗菌、汚れ防止

5. 消臭

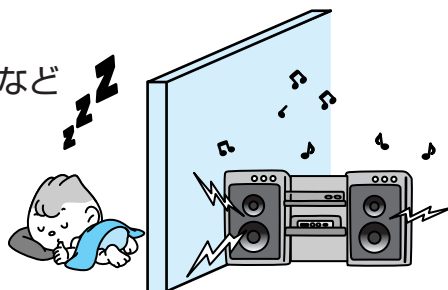
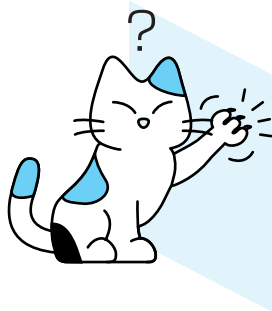
臭いを吸着する

6. 通気・透湿

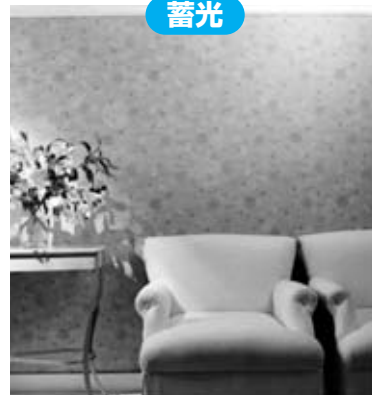
カビ防止…寝室、台所、脱衣所など

7. 吸音

音を吸収する…ピアノやオーディオセットがある部屋など



蓄光



通常照明の場合



消灯後約20分間光を発します

浜の皆さんから「おうち」の疑問、質問、お悩みを募集しています。

宛 先：札幌市中央区北3条西7丁目1番地
北海道ぎょれん総務企画部広報担当
F A X：011-242-3543
メール：info@gyoren.or.jp

建築・設計に関するご相談は
(株)ぎょれん設計センター
TEL：011-281-8509

浜だより

札幌駅の北西に広がる北海道大学を南北に走る並木道、青葉茂れるこの時期の散歩はお勧めです。5月頃から次第に新緑が芽生えはじめ、6月に入ると緑が次第に色濃くなり、日差しを遮るまでに葉の数が増えていきます。春から夏にかけての朝の通勤時間は、日々変化する緑を眺めるひと時です。 (編集部)

なみまるくんは挟んであったホタテのレシビ。どれもおいしそうだけど、「ホタチリ」を作ってみようかな。ホントにおいしそう。

(島牧村 高島 里子さん)

ついこの間まで寒い寒いとストーブを点けていましたが、段々と暖かな陽が差すようになりました。海がキラキラと光る夏が待ち遠しいです。

(浦河町 吉田 愛弓さん)

いよいよ養殖昆布が始まりました。皆さん体につけてがんばりましょうね。

(函館市 佐藤 芳雄さん)

なみまるくんの料理レシビはいつも母が利用しています。浜の名産をわかり、それぞれの地域性が出ていると思います。

(帯広市 千家 春菜さん)

私は小さい時から祖父に漁業のことを聞かされてきました。叔父も日高で昆布漁等をしていました。浜の便りを毎月楽しみにしています。これから私たちが引き継ぐ漁業の道をいかに切り開いていくか。課題だと思っています。祖父から聞かされてきた難問等を勉強したいと思っています。

(七飯町 清水 明恵さん)

皆さん、趣味を持っていますか。私は無趣味の為、ストレス発散法がありません。何か見つけなきゃと思っています。癒しはよく吠える愛犬です。

(初山別村 白府 美恵子さん)

来月から昆布漁が始まります。皆さん健康でがんばってください。大漁を祈ります。

(えりも町 大高 静代さん)

11pの間違いさがしの答え



今年は天気が良くないので、自家用の干しガレイがなかなか干せませんね。花畑の花もさっぱり大きくならないし、雑草も少ないかも…。

(豊浦町 竹島 美子さん)

浜料理のレシビを見て、弁当のおかずには時々作っています。(函館市 鈴木 あかりさん)

村から「森・川・海づくり」の植樹会を6月15日に行うのお知らせがまいりました。今年も参加します。美味しい魚をいただくためにも、みんなを誘って。(島牧村 泉谷 泰三さん)

手を抜くな 転ばぬ先の オレンジベスト

(社)北海道漁船海難防止・水難救済センター



とぎ汁で海を汚さない、おいしい無洗米です。

大漁御膳

ホクレン

ぎょれん

無洗米「大漁御膳」のお求めは、お近くの漁業協同組合へ

ぎょれんグループ

専門のノウハウ 浜に密着した機動力

漁業資材・施設設備で北海道の浜をサポート

マリノサポート 株式会社

本社 TEL (011) 261-0884 函館支店 TEL (0138) 22-4146 釧路支店 TEL (0154) 41-7145 長万部営業所 TEL (01377) 2-4118

なるほど!簡単!



浜料理

イカの夏野菜炒め(味噌風味)



レシピ

【材料】(4人分)

- ・イカ・・・2杯
- ・なす・・・中2本
- ・ズッキーニ・・・1/2本
- ・ピーマン・・・1個
- ・唐辛子・・・少々
- ・サラダ油・・・少々
- ・みりん・・・少々

【作り方】

- ① イカを開いて足を外し、皮をむく。裏面に粗く切り込みを入れ、表面はかのご状に切れ目を入れ、食べやすい大きさに切る。
- ② 鍋にサラダ油を入れ、唐辛子を炒め、なすとズッキーニを炒める。
- ③ 油がまわったらイカとピーマンを入れて手早く炒める。
- ④ 味噌をみりんできいてからめて出来上がり。

旬の夏イカを使った炒め物

今回は「イカの夏野菜炒め(味噌風味)」をご紹介します。松山地区では6月からイカが解禁となり、まさに旬の到来です。新鮮なイカと季節野菜とを合わせた炒め物、素材の美味しさを活かすには、手早く仕上げるのがコツです。



ひやま漁協
能登 真弓さん



産物で未来につなぐ北の森
本書の本文用紙は原料の一部に
道産産物を使用しております。